

真名川ダム・九頭竜ダム 水源地域ビジョン推進委員会

平成23年2月21日

I. 平成22年度の各機関の取り組み状況 _____



1. 森と湖に親しむ旬間行事 _____	森林	水	交流	1
2. シンボルフラッグ贈呈 _____			交流	6
3. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり _____	森林		交流	7
4. もりみずカップ2010少年サッカー大会 _____			交流	9
5. 『水源地の森づくり』第5回植樹会 _____	森林		交流	10
6. 越前おおのエコフィールド _____	森林		交流	12
7. NPO法人九頭竜自然楽校 _____		水	交流	14
8. 真名川水辺の楽校ビオフレンズ _____		水		17
9. 真名川ダム弾力的運用管理 _____		水		20
10. ダム湖の自然環境保全の取り組み _____		水		22
11. 流木の有効活用 _____	森林		交流	25
12. ダム湖周辺の紅葉情報提供 _____			交流	26
13. ダムカードの配布とダムマニアとの連携 _____			交流	28
14. 真名川ダムのダム内部見学 _____			交流	30
15. 九頭竜ダム展示室 _____			交流	34
16. 越前大野城築城430年祭事業 _____			交流	36
17. ノーム自然環境教育事務所（奥越前まんまるサイト） _____			交流	37

II. 平成23年度の活動予定 _____ 40

【参考資料】 _____ 41

1. 森と湖に親しむ旬間行事



概要

- 【実施内容】 ●真名川ダム見学会（平成22年7月24日（土））
●九頭竜ダム・長野地下発電所見学会（平成22年7月25日（日））
●真名川ダム大噴水ライトアップ（平成22年7月24日（土）～31日（土））
- 【目的】 国民が森林や湖に親しむ事により、心と体をリフレッシュしながら、森林やダム湖の重要性について理解を深める。
- 【主催】 森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会／九頭竜川ダム統合管理事務所／
福井森林管理署／福井県／大野市／電源開発(株)／北陸電力(株)／関西電力(株)
- 【関連行事】 ●九頭竜ダムカーフェスティバル2010（平成22年7月24日（土）、25日（日））
●もりみずカップ2010 少年サッカー大会（平成22年7月17日（土）、18日（日））
- 【事前PR】 県内を対象に新聞広告で事前PRを実施

7/24・25日は、ダムまるごと見学会
ダムの圧倒的スケールを体験しよう!

24日(土) 10:00～16:00 真名川ダム体験!

【見学・体験】夏でもひんやり内部通路／普段は見学NGの操作室／大噴水／結構高い!ギャラリー／127.5mのてっぺんから距離測定／小枝工作／各種パネル展示など。【プレゼント】ダムに流れ着いた流木／流木などから作った堆肥

25日(日) 10:00～16:00 九頭竜ダム体験!

【見学・体験】冬季連絡通路から128mのロックフィルダムを体験／ゲート操作室／簡単な流木工作教室／各種パネル展示など。【長野発電所見学】県内の水力発電で最大の地下発電所(電源開発、北陸電力、関西電力)【プレゼント】ダムに流れ着いた流木／チューリップの球根

真名川ダムの大噴水をライトアップ!
7月21日(金)～31日(土)の20:00～21:00
昨年好評だった約50mも吹き上がる大噴水のライトアップ。幻想的な空間を体験ください。

※プレゼントは、なくなり次第終了
※各行事は、気象条件などにより変更または中止になる場合がございます。
詳しくは、**九頭竜川ダム 事務所** 校舎
7月21日～31日は、「森と湖に親しむ旬間」です。
国土交通省 近畿地方整備局
九頭竜川ダム統合管理事務所
TEL.0779-66-5300

24日(土) 25日(日) ダムのスケールを体験!
真名川ダム・九頭竜ダムの
ダム見学会を開催

～7月21日～31日は、森と湖に親しむ旬間～

森と湖に親しむ旬間

主催：森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会
九頭竜川ダム統合管理事務所、福井森林管理署、福井県、大野市、電源開発(株)、北陸電力(株)、関西電力(株)

※各行事は、気象条件などにより変更または中止になる場合がございます。

国土交通省 近畿地方整備局
九頭竜川ダム統合管理事務所
TEL.0779-66-5300

24日(土) 10:00～16:00 真名川ダム

●真名川ダム 堤体内見学会
夏でもひんやりしたダム内部の通路、電力機室のウォークラダーゲート室などを案内。ダムのスケールや構造が実感できます。大噴水が立ち上がる瞬間もお見せします。

●真名川ダム 操作室見学会
普段は入ることのできない操作室を見学します。

●ダムマニアの写真展 (ダムマニアの方)
ダムをよく知るダムマニアが、全国のアーチダムの魅力を写真で紹介し、小枝を使った工作「マスコット作り」を行います。

●美しい森づくりを目指して 展示と森のマスコット作り (福井森林管理署)
福井県の森林保全の取組を紹介、小枝を使った工作「マスコット作り」を行います。

●ダムのてっぺんから目標まで 距離測定に挑戦
真名川ダム建設時のダム建設の記録映像で、距離を測定できます。

●流木を有効利用した堆肥をプレゼント
真名川ダムの流木をながくすいて、堆肥を作りました。なくなり次第終了。

●福井の森とダムについて学ぼう (福井県利用課・森づくり課)
県内のダムや森の保全について、パネルで紹介しします。

●麻部姫湖の流木プレゼント
真名川ダムに流れ着いた、自然が作り出すアートな流木。お庭や観音用にも、お持ち帰りください。
※なくなり次第終了

25日(日) 10:00～16:00 九頭竜ダム

●九頭竜ダム ゲート室見学会
普段は入ることのできないゲート室、連絡通路などを案内。ダムの大断面ゲートと高さ128mのダムのスケールが実感できます。

●長野発電所見学会 (電源開発・北陸電力・関西電力)
地下に隠れている発電所の大断面にびっくり!県内の水力発電所で最大の地下発電所を見学してみよう。

●流木でアート、工作教室
さまざまな形の流木を使って、発想を工夫して作り出そう。

●ダムマニアの写真展 (ダムマニアの方)
ダムをよく知るダムマニアが、全国のアーチダムの魅力を写真で紹介し、小枝を使った工作「マスコット作り」を行います。

●真名川ダムの流木をながくすいて、堆肥を作りました。お庭や観音用にも、お持ち帰りください。
※なくなり次第終了

●チューリップの球根プレゼント
ダムに流れ着いた流木をながくすいて、チューリップの球根を作りました。お庭や観音用にも、お持ち帰りください。
※なくなり次第終了

真名川ダムの大噴水をライトアップ!
7月21日(金)～31日(土)の20:00～21:00
ダムにためた水の高低差の差を巧みに使う大噴水。その高さ約50m。昨年好評だったライトアップをお楽しみください。
真名川ダム事務所 TEL.0779-(64)1011

■平成22年7月18日(日) 福井新聞掲載

■平成22年7月24日(土) 旬間行事当日の朝に福井新聞掲載

真名川ダム見学会

【開催日】平成22年7月24日(土)

【来場者】約300名

【内 容】 ● 堤体内通路、ギャラリー、噴水の直近や操作室等を見学し、ダムのスケールや構造を実体験
● 森のマスコットづくり(福井森林管理署による)
● 福井の森とダム、国有林の森林保全の取り組みを紹介(福井森林管理署、福井県による)
● ダムマニア写真展、距離測定クイズ、流木・堆肥・オガ粉の配布



■堤体見学



■ギャラリー見学



■大噴水見学



■森のマスコットづくり



■森林保全の取り組み紹介



■ダムマニア写真展



■距離測定クイズ



■流木・堆肥・オガ粉配布

九頭竜ダム・長野地下発電所見学会

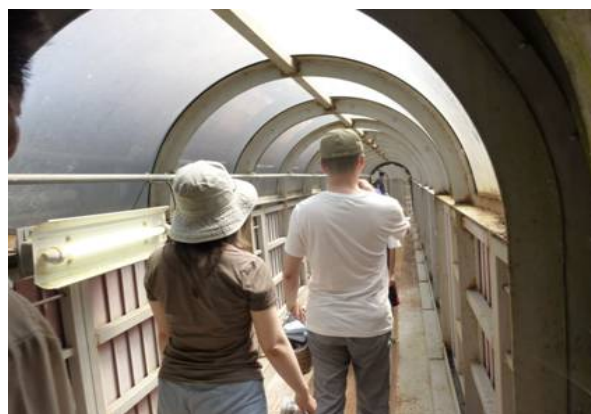
【開催日】平成22年7月25日(日)

【来場者】九頭竜ダム会場 約520名／長野発電所 290名

【内 容】 ●ゲート室や冬季連絡通路などを見学し、ダムのスケール感を体験 ●ダムマニアの写真展
●流木の配布と流木工作教室の開催
●地下発電所を見学し、大きさを体験



■ゲート室見学



■冬季連絡通路見学



■冬季連絡通路の昇降体験



■ダムマニア写真展



■流木工作教室



■長野発電所見学

真名川ダム大噴水ライトアップ

【実施日】平成22年7月24日(土)～31日(土) 20:00～21:00

【内容】高さ約50mに達する真名川ダムの噴水を夜間ライトアップ



■ライトアップの様子

アンケート結果

旬間中に各見学会会場でアンケートを実施。前年度と比較した結果は以下の通り。

	【来訪者の発地別内訳の推移】	【見学会を知った方法の推移】
真名川 ダム 見学会	100% 80% 60% 40% 20% 0% ■ 県外 ■ 県内 H21年度 H22年度 ● 両年度とも県内からが80%以上を占めている	100% 80% 60% 40% 20% 0% ■ その他 ■ 通りがかり ■ クチコミ ■ インターネット ■ 新聞 H21年度 H22年度 ● 両年度とも新聞の占める割合が60%以上を占めている
九頭竜 ダム 見学会	100% 80% 60% 40% 20% 0% H21年度 H22年度 ● 県外からの占める割合が約20%から約60%と増えている	100% 80% 60% 40% 20% 0% H21年度 H22年度 ● 通りがかりの占める割合が約15%から約40%と増えている

2. シンボルフラッグ贈呈

概 要

平成20年の「森と湖に親しむ旬間全国行事」のメモリアルとして開催された「もりみずカップ少年サッカー大会」が以後毎年、九頭流川流域の少年サッカーチームを招き開催されています。

九頭竜川ダム統合管理事務所では、水源地の活性化、流域の交流という水源地域ビジョン推進の一貫として、サッカー大会が今後とも継続される事を願い、平成20年の全国行事で使用された「森と湖に親しむ旬間」のシンボルフラッグを大野市を通じて、もりみずカップ実行委員会(フェンテ大野フットボールクラブ内)へ贈呈しました。

【贈呈式について】

- 日 時：平成22年8月31日(火) 14時30分
- 場 所：大野市役所 市長室
- 内 容：シンボルフラッグ贈呈



■平成20年7月26日
「森と湖に親しむつどい
全国行事」開会式での
シンボルフラッグ

記載省略

■平成22年9月1日(水) 県民福井4面

3. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり



概 要

大野市内で生産される農林水産物、特産品や旬の味覚を提供するといった「食の市場」と体験型・参加型イベントを実施することにより、文化・工芸の継承を促し、地域の活性化を図る事を目的として、毎年、春に新緑まつり、秋に紅葉まつりを開催。

【主 催】 大野市、(社)大野市観光協会

【共 催】 福井新聞社 【主 管】 九頭竜まつり実行委員会

【場 所】 大野市角野 九頭竜国民休養地

【後 援】 (社)福井県観光連盟/JR西日本福井地域鉄道部/
NHK福井放送局/FBC福井放送/福井テレビ/FM福井

記載省略

■平成22年5月16日(日)
福井新聞1面

記載省略

■平成22年10月31日(日) 福井新聞1面

第24回九頭竜新緑まつり

【日時】 平成22年5月15日(土)・16日(日)

【内容】 ●新緑ステージ、新緑市場、遊びの広場、
憩いの茶席など
●越前大野城築城430年祭記念企画
面谷鉾山ツアーを実施

【入込み人数】 約25,000人



■新緑まつりの様子



■新緑市場



■流木配布



■面谷鉾山跡地

第31回九頭竜紅葉まつり

【日時】 平成22年10月30日(土)・31日(日)

【内容】 ●紅葉ステージ、紅葉市場、遊びの広場、
紅葉茶屋、流木コーナーなど
●越前大野城築城430年祭記念企画
面谷鉾山パネル展を開催

【入込み人数】 約50,000人



■紅葉ステージ



■紅葉市場



■流木コーナー



■木工工作

4. もりみずカップ2010 少年サッカー大会



概 要

平成20年に開かれた「森と湖に親しむ旬間全国大会」のメモリアルとして、九頭竜川水系のもたらす豊かな自然に親しみ、自然を愛する子どもたちの心身ともに健全な発育を図るため、九頭竜川流域の少年サッカーチームを招き、相互の親善を深めるとともに、個人技術の上達を図り開催。

今年度は、越前大野城築城430年市民自主事業としても実施。

【開催日】 平成22年7月17日(土)、18日(日)

【会 場】 奥越ふれあい公園陸上競技場

【主 催】 フェンテ大野フットボールクラブ 【協 賛】 大野市

【後 援】 福井新聞社/大野市公共施設管理公社/
越前大野城築城430年祭実行委員会

参加チーム

岐阜県郡上市 白鳥フットボールクラブ
坂 井 市 ブルーウェーブ三国(準優勝)/
春江町サッカースポーツ少年団(優勝)
福 井 市 森田サッカースポーツ少年団
永平寺町 松岡サッカースポーツ少年団/
永平寺サッカースポーツ少年団
勝 山 市 勝山サッカーアカデミー
大 野 市 フェンテ大野フットボールクラブ/
フェンテ下庄少年サッカークラブ/
有終南サッカースポーツ少年団/
FCおおのスポーツ少年団/
和泉サッカークラブ



■競技風景

記載省略

■平成22年7月20日(火)
福井新聞19面

5.「水源地の森づくり」第5回植樹会



概 要

- 【内 容】 ● NPOドラゴンリバー交流会より提供いただいたコナラ、クヌギ、シラカシなどの苗木
300本を各自が持ち寄ったスコップなどで植樹
(苗木は、NPOドラゴンリバー交流会の会員がドングリから育成)
● 過去に植樹した苗木周りの草刈
- 【開催趣旨】 森づくりによる「水源林の保全・育成」と森づくりの機運
向上、上下流域の人々の交流と流域連携の促進を目的として、平成18年から毎年開催。
- 【日 時】 平成22年11月7日(日)
- 【会 場】 真名川ダム上流の中島公園内および外一箇所
- 【主 催】 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会
- 【参 加 者】 NPO法人ドラゴンリバー交流会
奥越漁業協同組合
九頭竜川中部漁業協同組合
福井県奥越農林総合事務所
大野市
電源開発(株)
近畿地方整備局河川部
九頭竜川ダム統合管理事務所 他(計24名)

「水源地の森づくり」 第5回植樹会のお知らせ

開 催 日：11月7日(日) 9時30分から2時間程度
会 場：真名川ダム上流 中島公園内他(2箇所を予定)
集 合 場 所：裏面会場位置図の第1会場(大野市街地から車で
約40分です。)
道 具：草刈り鎌、スコップ、ツルハシ、軍手等をご持参下
さい。
天 候：小雨決行
※中止かどうかわからない場合は九頭竜川統合管理事務所
(0779-66-5300)までお問い合わせ下さい。
※事前申込みはおりません。どなたでも参加いただけますので、
ご家族やお友達等お問い合わせの上、是非ご参加下さい。

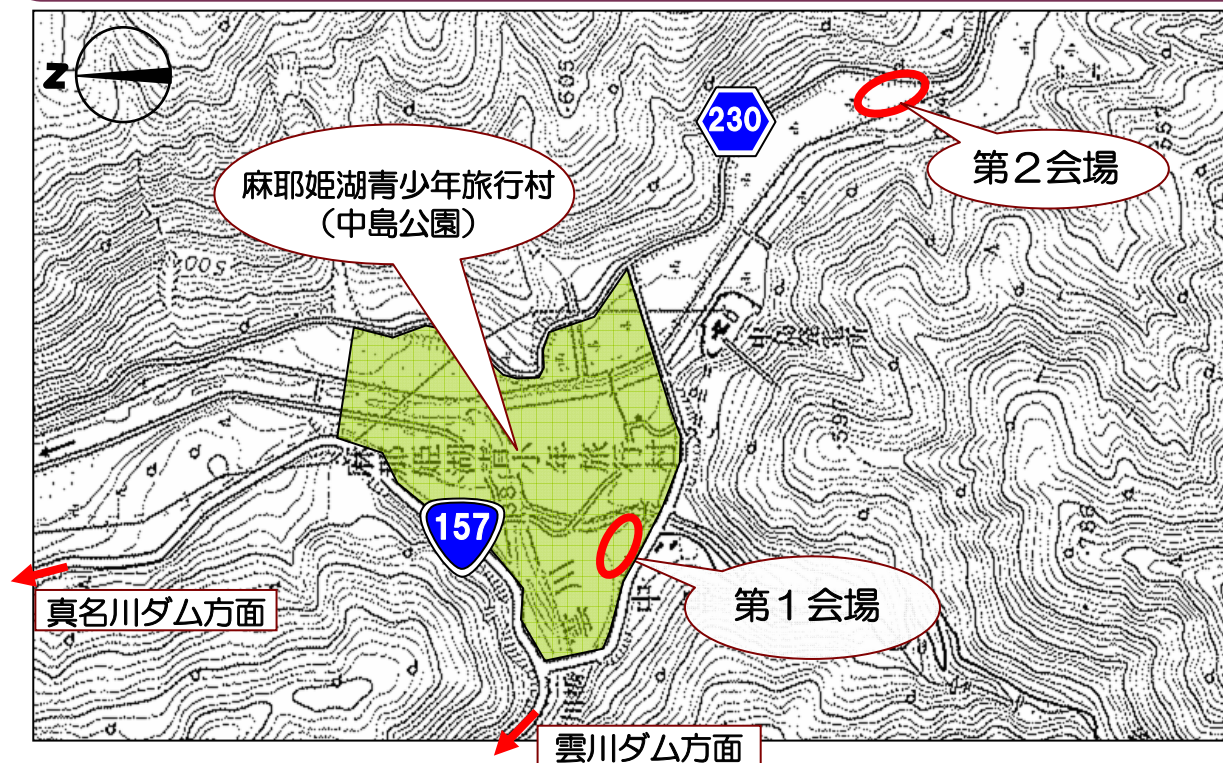
この植樹会は、森づくりによる「水源林の保全・育成」と森づくりの機運向上、上下流
域の人々の交流と流域連携の促進を目的として、平成18年から毎年行っているもので
す。なお、植樹用の苗木は、NPOドラゴンリバー交流会の会員の方がドングリから育て
たものです。当日、この苗木をお集まりの皆さん方で植樹します。

【主 催】
真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会

【これまで参加して頂いた機関】
NPOドラゴンリバー交流会、奥越漁業協同組合
大野市漁業協同組合、九頭竜川中部漁業協同組合、電源開発(株)
福井県奥越農林総合事務所、林野庁福井森林管理署
大野市、九頭竜川ダム統合管理事務所 他

■植樹会の案内ちらし

会場位置と植樹会の様子



■植樹の様子（第2会場）



■参加者のみなさん



■植樹の様子（第1会場）



■草刈の様子（第2会場）

6. 越前おおのエコフィールド



概要

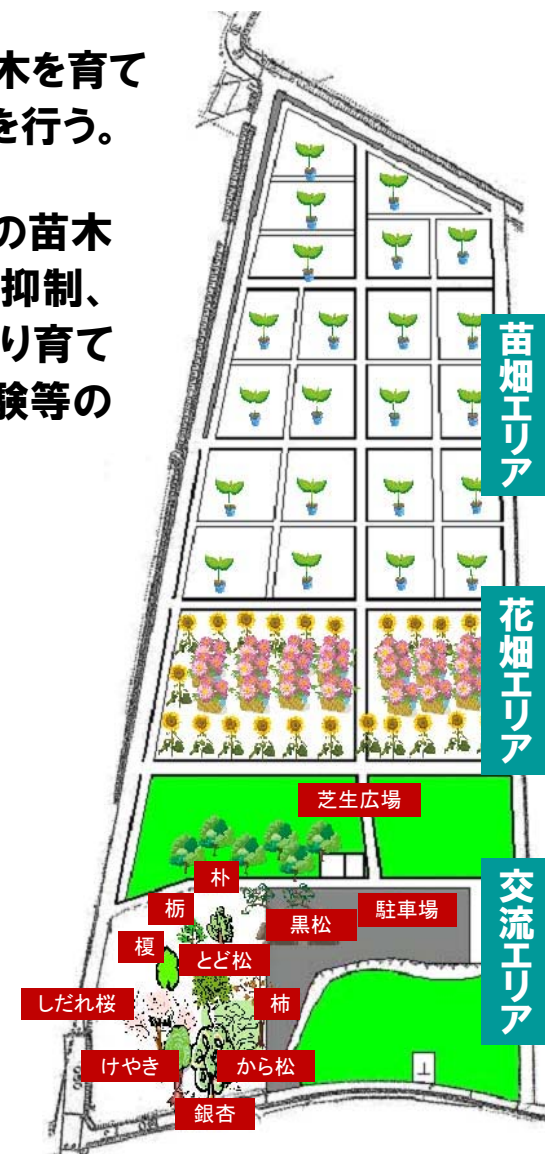
【活動概要】参加団体・企業や地域の方と一緒に、ドングリなどの苗木を育てる森林(もり)づくり活動や、自然環境教育、自然体験などの取り組みを行う。

【目的】福井営林署跡地(エコフィールド)においてドングリなどの苗木を育成し、森づくり活動に活用することにより、水源涵養、自然災害の抑制、二酸化炭素の削減等、公益的機能を持つ大野市の広大な森林を守り育てる一助にするとともに、緑化活動の啓発、自然環境教育及び自然体験等の環境保全活動を行うことを目的としている。

【管理運営】一般財団法人 越前おおの農林楽舎へ委託

越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等

NTT西日本福井支店/九頭竜森林組合/株式会社福井新聞社/
福井放送株式会社/北陸電力株式会社福井支店/
越前信用金庫/大野鉄工金属共同組合/大野市消防団/
越前おおの森づくりネットワーク/北陸銀行大野支店/
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社/
株式会社タニコーテック/越前大野駅/大野市内郵便局/
日本タバコ産業株式会社福井営業所/大野商工会議所/大野市/
一般財団法人越前おおの農林楽舎



■エコフィールド

活動状況

花畑エリア

【コスモスの播種イベント】

日 付：平成22年6月20日(日)

参加者：越前大野エコフィールド管理・運営協議会参加企業等 約100名

内 容：コスモスの種まき、どんぐり苗畑の草取り、子どものトラクター乗車体験

【来春に向けた「菜の花」の播種】

日 付：平成22年10月下旬～11月上旬

苗畑エリア

【どんぐりの苗づくりイベント】

日 付：平成22年10月11日(月)

参加者：越前大野エコフィールド管理・運営協議会参加企業等 約200名

内 容：どんぐり拾い(親子約40人)、マルチ掛け、どんぐり植付け(約2,000個)、
どんぐり苗(平成21年植付け)の植替え



■コスモスの播種イベント



■菜の花とシバザクラの開花
(4月下旬)



■どんぐり播き

7. NPO法人九頭竜自然楽校



九頭竜湖カヌーフェスティバル2010

- 【主 催】NPO法人九頭竜自然楽校 【共 催】 前坂キャンプ場
- 【後 援】大野市／真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会
- 【協 力】福井県カヌー協会／FM福井／福井テレビ／福井新聞／福井放送
- 【開 催 日】平成22年7月24日(土)、25日(日) 九頭竜湖、及び前坂キャンプ場にて
- 【開催趣旨】全国のカヌー愛好者や自然体験活動団体が、もっと九頭竜湖を積極的に活用し、子どもたちに「森と湖」の多様な自然と環境を体験する機会がより多く提供されることを願い当カヌーフェスティバルを企画。今後、継続的な開催を目指す。

【開催内容】

- 前夜祭、交流会：
平成22年7月24日(土) 18:00～21:00
前坂キャンプ場にて
- カヌーフェスタ：
平成22年7月25日(日) 10:00～16:00
九頭竜湖にて
 - ・ドラゴンカヌーツーリング(無料)
 - ・カヌー体験講座(有料)
 - ・流木アート講座(有料)
 - ・水辺の清掃活動、他

【参加者数】143名

県内子どもクラブ団体 60名、
一般 83名(県外15名、県内68名)

【取材パブリシティ】

日付	媒体名	内容／番組
6/24	福井TV	告知／おかえりなさい
7/7	福井新聞	告知／福井新聞
7/9	FM福井	告知／ECOちょっといいことはじめる
7/9	CONE メルマガ	告知／自然体験活動推進協議会(CONE)メルマガ
	福井新聞 (折込)	告知／「週間Bu!ばななとうらら」
	福井放送	告知／ラジオ
7/30	福井放送	実施レポート／いけてる福井

カヌーフェスティバルの様子



■前坂キャンプ場で参加者の交流会



■開会式、及びカヌー基本講座



■九頭竜湖ドラゴンカヌーツーリング



■家族でカナディアンカヌー体験



■流木アート体験工房



■水辺の清掃活動

ログハウス講座開催

ログハウス講座では伐採～皮むき、チェーンソーワーク、木工など、ログハウス建築の全工程を体験。
【ログハウス講座のレポート例】

NPO法人九頭竜自然楽校
kuzuryu158.net

2010年 第3回 九頭竜自然楽校・ログハウス講座
2010年 8月21日(土) 参加者:5名 ちびっ子:6名
22日(日) 参加者:5名 ちびっ子:6名
福井県大野市 おおのエコフィールド、体験小屋

ログハウス講座
真夏の一番暑い盛りでしたが、ログハウス講座を開催しました。
9月にログハウスを移設させることを目標にしていますので、まずは基礎作りからスタートです。
ミニログですので、ボイドカンなどによる独立基礎でもOKだと思いますが、この場所はずいぶん山風が吹くこともあり、しっかりとした基礎を作ることになりました。
コンボで地ならしを行い、型枠を正確に設置していきます。
今回は20cm厚の生コンを投入する予定です。



子供たちも参加!!
あまりの暑さにミニプールで1日遊んでくれました。



2日目は朝から仮組みの残作業をピッチを上げて進めていきます。
プレートログの加工を行ったり、桁の加工を行ったりとかなりの作業量をこなしました。



■NPO法人九頭竜自然楽校ホームページより

JP子どもの森づくり運動に参画

大野幼稚園が主催する「JP子どもの森づくり運動」で植樹活動が行われ、特別協力としてNPO法人九頭竜自然楽校が参画。

【植樹活動の概要】

- 日 付：平成22年5月29日(土)
- 会 場：九頭竜湖「下半原ふれあい湖畔」
- 主 催：大野幼稚園
- 関連団体：日本郵政グループ、
NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク、
ドライブイン九頭竜、NPO法人九頭竜自然楽校
- 参 加 者：園児、保護者、サポーター等73名
- 内 容：園児たちが、平成20年秋に「国民休養地」で拾って、園で育てたどんぐりの苗木、約40本と園長先生が約5年前に育てた苗木(檜、他)約40本を保護者と共に植樹。植樹終了後、九頭竜湖でカヌー体験。



■植樹の様子



■植樹後のカヌー体験

8. 真名川水辺の楽校 Bioフレンズ



真名川水辺の楽校

- 【概要】 子供たちや地域住民が川とふれあい親しむことのできる親水活動の場、自然体験・自然学習の場、また多種多様な動植物が生息生育できる水辺空間の保全と創出を図るとともに、持続的かつ有効に活用して、利用方法、維持管理、モニタリング調査を継続的にを行い、目標とする生態系を目指している。
- 【場所】 大野市南新在家の河川敷
- 【管理運営】 真名川水辺の楽校 Bioフレンズ
- 【整備体制】 福井県奥越土木事務所、大野市、施工業者、真名川水辺の楽校 Bioフレンズ
- 【Bioフレンズの主な活動内容】
- 「真名川水辺の楽校」の利用に関する企画・運営
 - 「真名川水辺の楽校」の自然に関する学習会等の開催
 - 「真名川水辺の楽校」の自然環境追跡調査
 - 「真名川水辺の楽校」の維持管理作業



記載省略

※なお平成22年度 多自然川づくり近畿地方ブロック会議において、福井県が「真名川水辺の楽校プロジェクト」を発表し、全国に伝えたい代表事例に選出された。

■平成22年8月23日(月)
県民福井5面

平成22年度 ビオフレンズの活動内容

活動項目	実施日	活動内容	備考	会員人数(※)
普及・啓発活動	3月19日・20日	水辺の生物多様性展及び準備	大野市立図書館にて	4
	5月21日	下庄小学校周辺で生き物観察	人材派遣	1
	6月21日	真名川ダムフラッシュ放流効果の会議に参加	人材派遣	1
	7月30日・31日	大阪追手門小学校生徒受入れ	応募者子ども8名、大人3名	6
	8月2日	大野市小中学校理科研究部会水生生物研修	市内小中学校理科教員22名	1
	8月21日・22日	「かわら塾」受入れ(市内親子40名)	大野城築城430年祭 水遊び、水生生物調査など実施	7
	10月6日	下庄小学校5年生 52名を受入れ	水辺の生き物観察を実施	1
維持管理活動	3月30日	雪囲いはずし		2
	6月12日・22日 7月24日・25日・28日 8月2日・11日 11月23日	草刈作業	堤防、あづまや、遊歩道、せせらぎ水路沿いなど	22
	6月16日、8月20日 9月3日	清掃・展示更新	あづまやの清掃及び展示の更新など	6
	11月13日	雪囲い作業		2
モニタリング調査	4月14日	真名川ダムフラッシュ放流		1
	5月16日、6月12日 9月3日	陸上昆虫を調査		3
	12月1日	砂礫堆の移動調査(メッシュの特定)		2
	12月6日	・水生生物および河床の生物モニタリング ・砂礫堆の移動調査(写真撮影)		3

活動の様子

普及・啓発活動			
	水辺の生物多様性展(大野市立図書館)と準備作業		
			
	水辺の生物多様性展	水生生物研修	総合学習の時間
維持管理活動			
	子どもの受け入れ	430年祭「かわら塾」受入	広報展示
			
	堤防の草刈り	雪囲い作業	ゴミ拾い

モニタリング調査	
	水生生物調査
	
モニタリング調査	陸上昆虫調査
	
モニタリング調査	砂礫堆の移動調査

9. 真名川ダム弾力的運用管理



概 要

真名川ダム弾力的運用管理として、平成15年より、洪水調節容量の一部に貯留した容量を活用して、ダム下流の河川環境の保全・改善を目指す「フラッシュ放流試験」を実施。また、効果を評価するために必要な調査も行っている。

実施に際しては、「真名川ダム弾力的管理検討委員会」に諮り、ご意見・ご指導のもと行っている。

フラッシュ放流試験 平成22年4月の実施内容

項 目			実施内容
フラッシュ放流	実施時期		融雪期(4月14日)
	ピーク放流量、時間		70m ³ /s、2時間半
置土	実施時期	施工	4月14日
		流下	フラッシュ放流時(融雪期)
	置土場所		八千代橋上流
	施工方法		重機により整形
	置土材料		福井県浚渫工事場所の掘削土砂
	置土量		約140m ³
自然再生試験	実施時期	施工	ワンドB(4/14),ワンドA(4/15)
		調査	フラッシュ放流(融雪出水後)後
	試験場所		置土場所下流～八千代橋上流間
	試験内容		ワンドの創出

【放流時の状況】



フラッシュ放流試験 平成23年4月の実施計画

項 目		実施計画内容
フラッシュ放流	実施時期	融雪期(4月14日)
	ピーク放流量、時間	200m ³ /s、1時間
置土	実施時期	施工 積雪前(11月)
		流下 フラッシュ放流時(融雪期)
	置土場所 置土ステーション	
	施工方法 ラフに設置	
	置土材料 貯水池上流の堆積土(砂・砂利分中心)	
	置土量 約200m ³	
自然再生試験	実施時期	施工は積雪前(11月)
	試験場所	置土ステーション上端から100m下流の範囲
	試験内容	エコトーン(緩斜面)の創出(ツルヨシの除去,河岸のほくし,巨石の河川への投入)

【平成22年度 第2回真名川ダム弾力的管理検討委員会に関連する記事】

記載省略

■平成22年11月26日(金) 福井新聞 24面

10. ダム湖の自然環境保全の取り組み

真名川ダム・九頭竜ダムの環境マップ配布

【 概 要 】 ダム湖周辺の自然環境をより楽しんでもらうために、現在生息している魚、昆虫、鳥、動物、植物などの自然環境を分りやすく紹介したポケットサイズのマップを、平成21年4月にダム湖別に作成し、真名川ダム、九頭竜ダムのそれぞれの管理支所にて配布している。

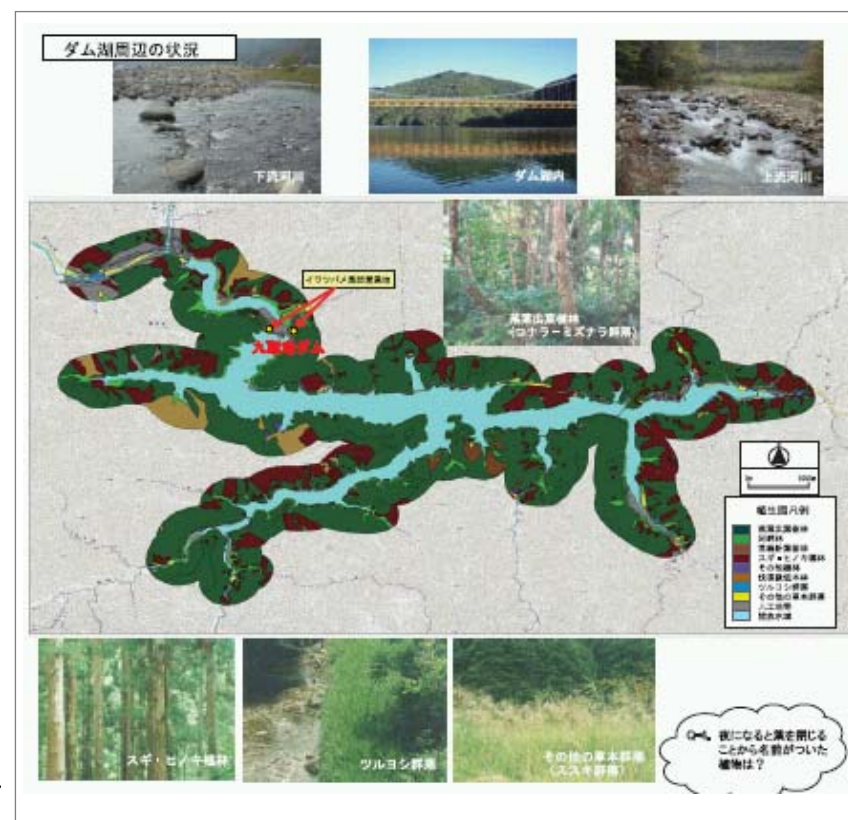
【概 観】 サイズ:縦10cm×横20cm／屏風折 全12ページで構成

【配布状況】 平成21年4月に初版として両ダムで1,000部ずつ発行し、平成22年12月に各ダムで2,000部ずつ増刷

【揭 載 例】



■真名川ダム環境マップの魚類のページ例



■九頭竜ダム環境マップのマップ面

九頭竜ダム湖の特定外来生物「コクチバス」対策

【概要】

- 「コクチバス」の産卵期である5月～7月にかけて、産卵場所になると考えられる浅瀬を中心に、繁殖状況及び生息状況の調査を行い、あわせて繁殖の抑制のため駆除を実施。
- 外来魚放流禁止の呼びかけ

【調査経緯】

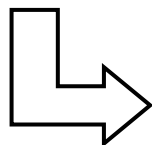
平成19年度に「河川水辺の国勢調査」の一環として魚類調査を行った際、九頭竜ダム湖内で特定外来種のコクチバス2個体を捕獲確認。コクチバスは繁殖能力が高く、駆除せずに放置した場合、ダム湖の在来魚種等に大きな影響を与える恐れがあると考えられるため、平成21年度より調査を実施。本年度は、福井県、奥越漁業協同組合と連携して駆除を実施。

【調査結果】

産卵床34箇所、卵約18,200個、稚仔魚約5,635個体、成魚133個体を確認。調査で確認した産卵床や卵は破壊し、稚仔魚はほぼ全て、成魚は捕獲できた69個体を駆除。

【外来魚放流禁止呼びかけ】

九頭竜ダム湖周辺に外来魚の放流、移動禁止を呼びかける看板を11箇所設置。



記載省略

■平成22年6月5日(土)
福井新聞24面

真名川ダムの濁水対策の取り組み

【概要】ダム湖の濁水軽減対策として、貯水池に溜まった土砂の撤去(毎年実施)や可動式の濁水対策フェンスを設置(フェンスの設置は平成21年度)。

【背景】近年真名川ダムでは、濁水の長期化現象が顕著になっており、平成17年10月に「真名川ダム濁水対策検討委員会」を設置し、学識経験者の指導・助言、関係機関との連携による濁水要因や長期化現象の調査解明、濁水長期化対策などの検討を行っている。これら検討結果より本年も対策を実施。

【対策様子】



■貯水池の土砂撤去



■濁水対策フェンス

【効果例】ダム湖に流入する濁水をフェンスで抑制



■平成22年9月 台風9号による出水時の様子

11. 流木の有効活用

概要

【流木対策】 ダム湖に流れ込んできた流木はゲート操作などに支障とならないよう回収

【有効利用】 ●「森と湖に親しむ旬間」や「九頭竜新緑・紅葉まつり」で一般の方へ配布

●流木工作教室などを開催し、流木のアートの紹介

●過去に「おが粉」化や「チップ」化して活用 ※「おが粉」の活用先：大野市六呂師堆肥センター
「チップ」の活用先：和泉地区体験農場（もぎとり園）



■九頭竜新緑まつりの流木配布



■森と湖に親しむ旬間の流木配布



■九頭竜紅葉まつりの流木配布



■森と湖に親しむ旬間の流木工作教室



■できあがった「おが粉」



■「チップ」（九頭竜ダム）

12. ダム湖周辺の紅葉情報提供

概 要

麻那姫湖、九頭竜湖周辺の紅葉の状況を、ダム管理支所職員がダム湖等を巡視した際に写真に撮り、『紅葉情報』として毎週ホームページに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供したもので、昨年に引き続いて実施。

【期 間】 平成22年10月22日(金)～
11月25日(木)

【提供URL】 九頭竜川ダム統合管理事務所
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu/>

【リンク先】 大野市役所ホームページ
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

記載省略

【観測地点】

- ①真名川ダム下流部
- ②貯水池中流部
- ③真名川ダム上流部
- ④中島公園
- ⑤九頭竜ダム管理棟周辺
- ⑥九頭竜ダム左岸
- ⑦箱ヶ瀬橋付近
- ⑧九頭竜ダム上流部



ホームページ掲載例

【真名川ダム(麻那姫湖)周辺】



真名川周辺の紅葉情報(2010年度版)をお届けいたします。

平成22年11月9日現在 コメント

11月に入って、真名川ダム周辺の紅葉も更に進んでいます。
(写真は、小雨交じりの天候で撮影しましたので、もやがかかって鮮やかな色が出ていません)

貯水池周辺の尾根部(標高600m程度)付近では、先週から真っ赤に色づき紅葉真っ盛りとなっています。

下流部から上流部に掛けて、ダム貯水池の山腹では、黄色から赤色に変色している木々が目立つようになり、紅葉の見頃を迎えています。

真名川ダムから下流の真名溪付近でも、見頃を迎えようとしており数日で最もきれいな紅葉が見られそうです。

上流部の中島公園内の木々の多くは赤色が目立ってきており、紅葉の見頃となっています。

注:真名川ダム管理支所でクマが出没しています。紅葉を見に来られる方は、クマに十分注意して下さい。

真名川ダム下流部



【九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺】



九頭竜ダム周辺の紅葉情報(2010年度版)をお届けいたします。

平成22年11月11日現在

九頭竜ダムの周辺や、九頭竜峡では紅葉の盛りの時期を過ぎて落葉が始っています。岐阜県との県境にある油坂峠周辺の山頂では落葉はかなり進んでいます。
九頭竜ダム下流の九頭竜峡は今は紅葉の盛りの時期であり、まだ紅葉は楽しめますが、紅葉の時期は終盤を迎えようとしています。

現在、国道158号線では随所で道路工事が行われており、九頭竜ダムのダムサイトでも工事が行われています。
ダムに立寄る際には安全に注意して下さい。

道路脇に車を止めて観光される場合は交通安全に注意するだけでなく、野生動物、特に熊には十分注意してください。

九頭竜全景



管理支所周辺部

ダム左岸の取水口周辺です

ダム右岸側の管理支所周辺です



13. ダムカードの配布とダムマニアとの連携

ダムカードの配布

ダムのことをより知っていただくため、全国の国土交通省や水資源機構のダムで、統一規格のカードを配布している。

- 平成19年度の「森と湖に親しむ旬間」より、全国111のダムで配布開始
- ダムや周辺施設のみで配布
- 全国統一規格(カードの大きさ、掲載項目など)で基本的な情報からマニアックな情報まで掲載
- 九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページにて配布案内

【真名川ダム・九頭竜ダムでの配布状況】

	真名川ダム	九頭竜ダム
配布場所	真名川ダム管理支所	九頭竜ダム管理支所
配布時間	9:00～17:00(土・日・祝日含む)	9:00～17:00(土・日・祝日含む)
ダムカード		
平成22年配布枚数(※) (累計枚数)	1,034枚 (4,136枚)	1,828枚 (5,589枚)

(※)平成22年1月～平成22年12月末現在

ダムマニアとの連携

【ダムマニアとは】

- ダムが好きで、各地のダムを見て歩いたり、知識や写真等を収集する事を趣味とする人々
- インターネットやイベントを通じて交流
- 近年、メディアでも話題に

【ダムマニアとの連携】

- 森と湖に親しむ旬間(平成22年7月)で、「ダムマニア」の方が撮られた様々なダムの写真を展示
- 「ダムマニア」の方が作成したオリジナルのダムカードを展示(九頭竜ダム管理支所)



■ダムマニアによるアーチダム写真展
(森と湖に親しむ旬間の 真名川ダム会場)



■ダムマニアによるフィルダム写真展
(森と湖に親しむ旬間の九頭竜ダム会場)

14. 真名川ダム of ダム内部見学

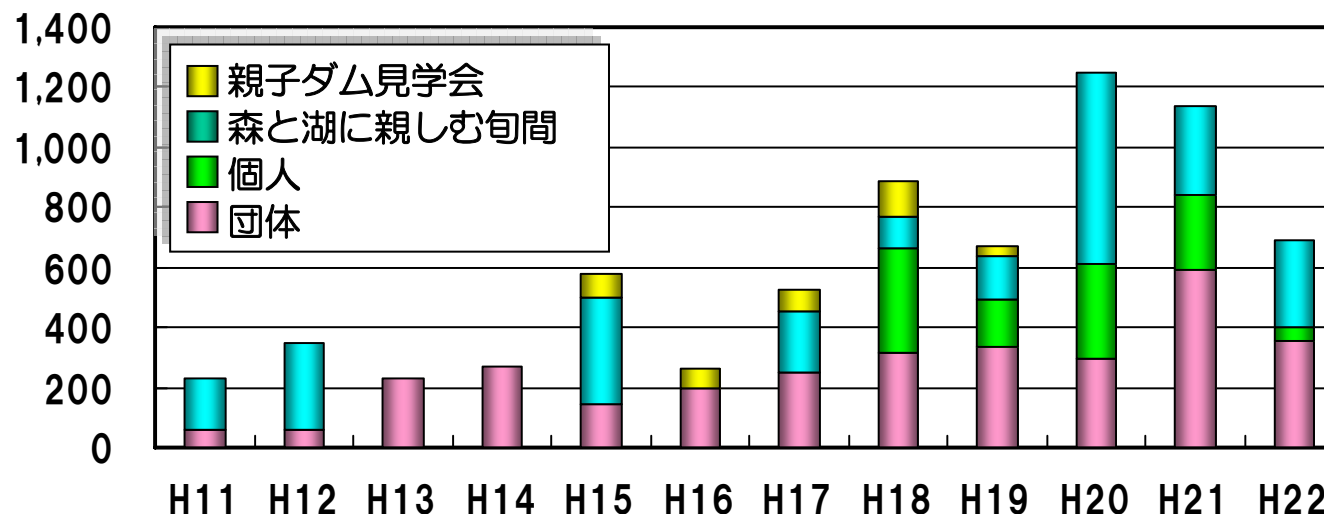
概要

ダム管理支所職員による真名川ダムの堤体内および周辺の見学案内を実施。
 見学申込の予約受付を九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページにて随時行っている。

【見学者集計結果】

- 「団体見学の内訳」では、小学生等が60%を占めている。
- 「見学のきっかけの内訳」では、ホームページによるものが65%を占めている。

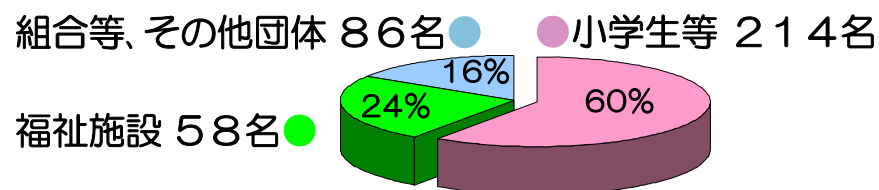
【見学者数】平成22年度 689名 ※1 H17年以前の「団体」の人数は、「個人」+「団体」を示す。



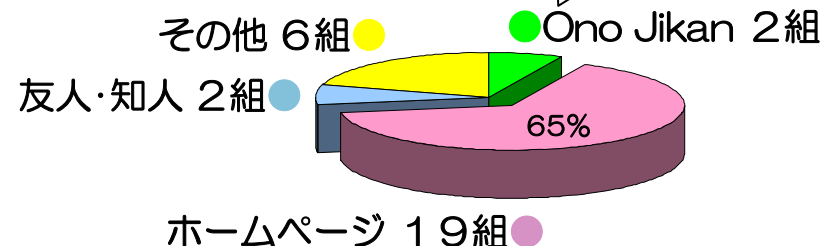
▼平成大野屋マガジン「おおのじかん」Vol5より



【団体見学者の内訳】(※2)



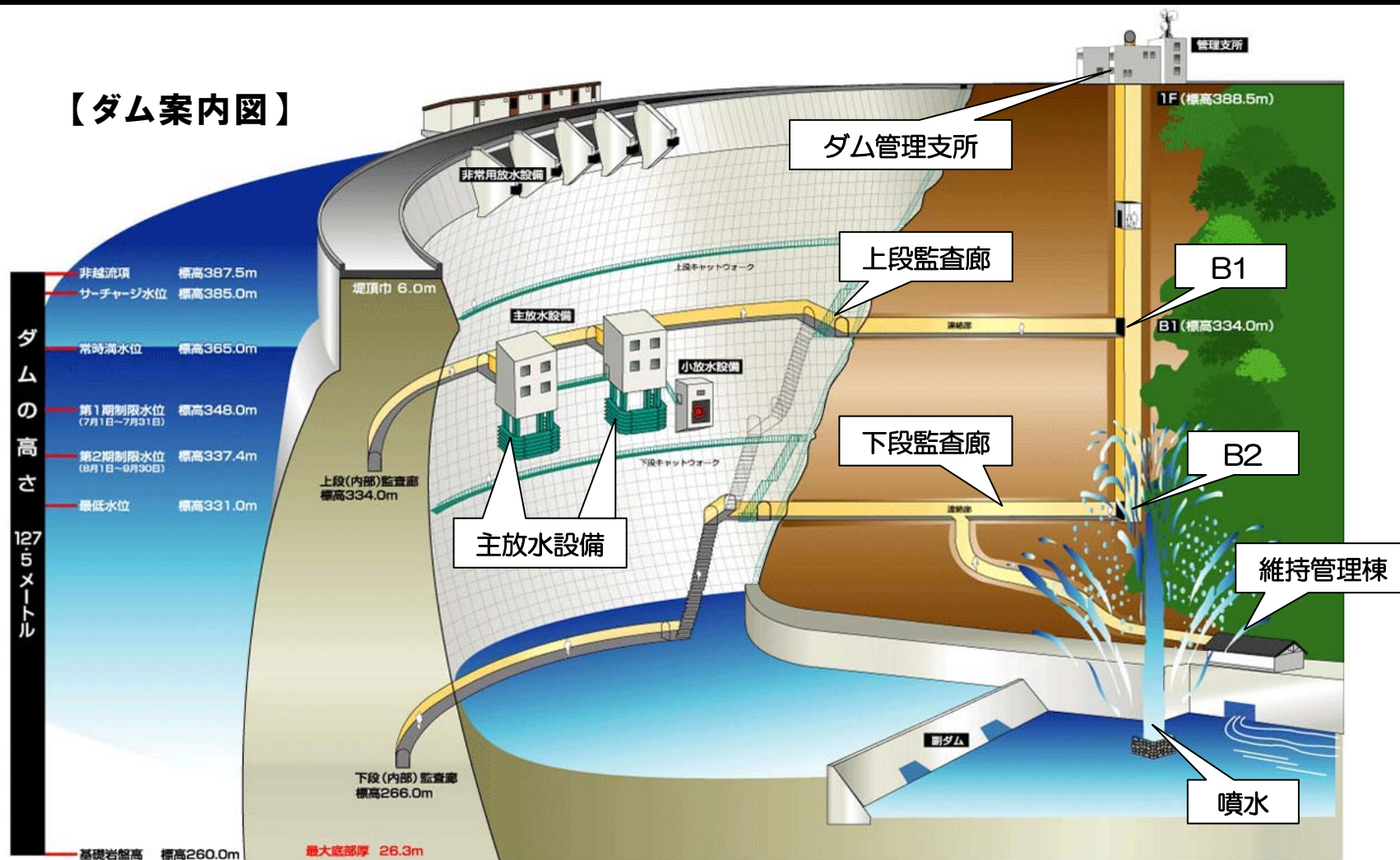
【見学のきっかけの内訳】(※2)



(※2) 森と湖に親しむ旬間は含んでいません

見学コース

コース	見学ルート	時間	見学場所
Aコース	ダム管理支所 → B1 → B2	60分	上段監査廊、主放水設備、維持管理棟、噴水前
Bコース	ダム管理支所 → B2	30分	維持管理棟、噴水前



見学の様子



■ B1エレベーター前



■ ダム諸元の説明



■ 主放水設備等説明



■ 下段監査廊からの下り通路



■ 維持管理棟内部



■ 噴水前

小学生のダム見学

県内の小学校2校6クラスの生徒192名が体験学習として、平成21年10月7日(木)、8日(金)に真名川ダムを見学。ダム職員が施設を案内。

【体験学習のコース】

神明小学校

学校出発 (8:00) → 真名川ダム (9:40～11:15) → 県立恐竜博物館 (12:00～14:45) → 学校着 (16:00)

吉川小学校

学校出発 (8:00) → 真名川ダム (9:30～12:00) → 大野市探訪 (12:30～14:40) → 学校着 (16:30)

【ダム見学の小学生からの寄書き】



15. 九頭竜ダム展示室

概 要

平成19年4月より、ダムの役割や状況など、ダムに関する展示を行っており、本年も継続して開設。

【場 所】九頭竜ダム堤体右岸ダムサイト 九頭竜ダム管理支所 1F

【開館時間】9:30～16:30（平日・休日を問わず開館）



■展示室位置図



■九頭竜ダム展示室の入り口

展示内容



■九頭竜ダム、地域情報、災害情報、発電に関するパネルや写真



■日本全国のダム写真カード



■九頭竜ダム建設のビデオ上映



■流木アート

16. 越前大野城築城430年祭事業



概 要

【主 旨】1580年に織田信長の武将、金森長近が亀山に築城して、越前大野城が築城430年を迎えるに当たり、先人たちの英知と努力に感謝しながら今日の繁栄を祝い、「越前おおの」のさらなる飛躍を目指した力強い歩みを進めるため、市民や市や関係団体が協働して、年間を通じて「越前大野城築城430年祭」を実施。

【開催期間】平成22年3月21日(土)～平成23年2月6日(日)

【主 催】越前大野城築城430年祭実行委員会／大野市

【開催地】城下町とその周辺地区

【事業展開のコンセプト】『築こう！つなげよう！大野市民の自信と誇り』



【イベント概要】越前おおのの四季の魅力を体験できるよう、年間を通じて多彩な事業を実施。メイン月間(10月)における実行委員会主催事業と8月のおおの城まつりの2つの事業を核に、大野市主催事業、市民自主事業、実行委員会支援事業を実施。

【入込人数】約60万人



■平成22年3月21日
七間朝市開き



■平成22年7月24日、25日
越前おおのとんちゃん祭



■平成22年8月14日
越前おおの城まつり



■平成22年10月10日
記念パレード

17. ノーム自然環境教育事務所(奥越前まんまるサイト)



設立目的

奥越地域の自然・産業資源を媒介して、次世代の地域を担う人材育成を目的としています。また、地域内の多様な人材・農林業資源・暮らしや文化を「まっ—るく」活かしてエコ・グリーンツーリズムを進めていくことを大切にしています。

主な河川活動の紹介

概 要	活動の状況	活動の内容等
GW新緑のカヌー体験 (場所:和泉下山の淵)		・事前レクチャー ・パドルの使用方法 ・正しいPFDの装着 ・スローロープの使用方法 ・河川でのコミュニケーション ・落水時の対処方法 ・新緑のカヌーの楽しみ方
川の安全基礎講座 (石川・福井にて毎年1回)		・PFD装着しての川流れ ・川の流れを読み解く ・中州での救助方法 ・スローロープでの救助方法 ・危険予知トレーニング

概 要	活動の状況	活動の内容等
川のリーダー講座 (隔年開催:RAC支援)		・川の文化と暮らし ・川の構造等の基礎 ・川での安全全般 ・救助方法の講義及び実技 ・川を利用した環境教育の講義や実技 ・川の活動全般のプランニング ・リスクマネジメント&危険予知講義
福井市内の児童センター との共催2回 (和泉下山)		・水生昆虫採集&調べ ・PFDを装着しての川流れ ・岩からの飛び込み ・川でのコミュニケーション方法
親子体験5回程度 (幼児～小学生やスポ少 団体:下打波)		・森と川のつながりを湧水で理解 ・伏流水の不思議 ・共生(サンショウウオ)の理解 ・川の生き物探検 ・PFDを装着しての川流れ ・溪流下りや登り ・民家でのカマド炊きやお風呂沸かし ・親子でのコミュニケーション

概 要	活動の状況	活動の内容等
地域連携 (イトヨ会館と共催: 赤根川)		・地域内の河川に住む生き物調査 ・過去と現在の河川の移り変わり ・採取した生き物を描く(詳しく観察) ・親子でのコミュニケーション ・水槽レンタルによる飼育体験 ・PFDの正しい装着方法の理解
川のサマーキャンプ15名 (RAC支援)		・九頭竜川下～中～上流生き物調査 ・森と川と人の暮らしのつながり理解 ・PFDの装着と危険予知 ・川流れ ・伝統的な狩猟体験 ・川に親しむための遊び ・参加者同士のコミュニケーション ・地域の人たちとのコミュニケーション

来年度に取り組みたい事業

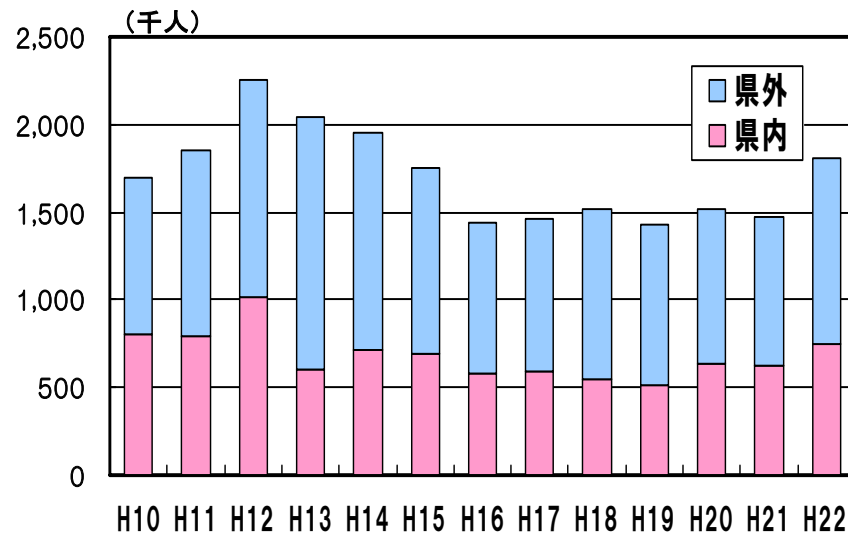
- 小学校での河川活動の支援
- 都市部の教育団体の受け入れや連携した活動(授業に取り込むとか)
- 奥越地域での漁業関係者との共催事業の開催
- 川遊び拠点の整備(空き家等の利用)
- JRと利用して「夏休み川遊びツアー(主に下山)」の実施

Ⅱ. 平成23年度の活動予定

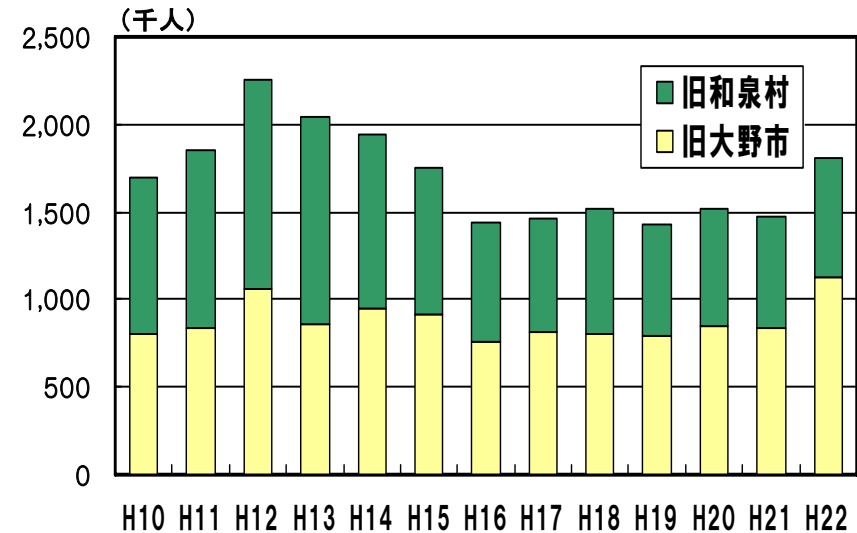
1. 森と湖に親しむ旬間行事
2. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり
3. もりみずカップ少年サッカー大会
4. 『水源地の森づくり』植樹会
5. 越前おおのエコフィールド
6. NPO法人九頭竜自然楽校
7. 真名川水辺の楽校ビオフレンズ
8. 真名川ダム弾力的運用管理
9. ダム湖の自然環境保全の取り組み
10. 流木の有効活用
11. ダム湖周辺の紅葉情報提供
12. ダムカードの配布とダムマニアとの連携
13. 真名川ダムのダム内部見学
14. 九頭竜ダム展示室
15. ノーム自然環境教育事務所

【参考資料1】 大野市の観光動向

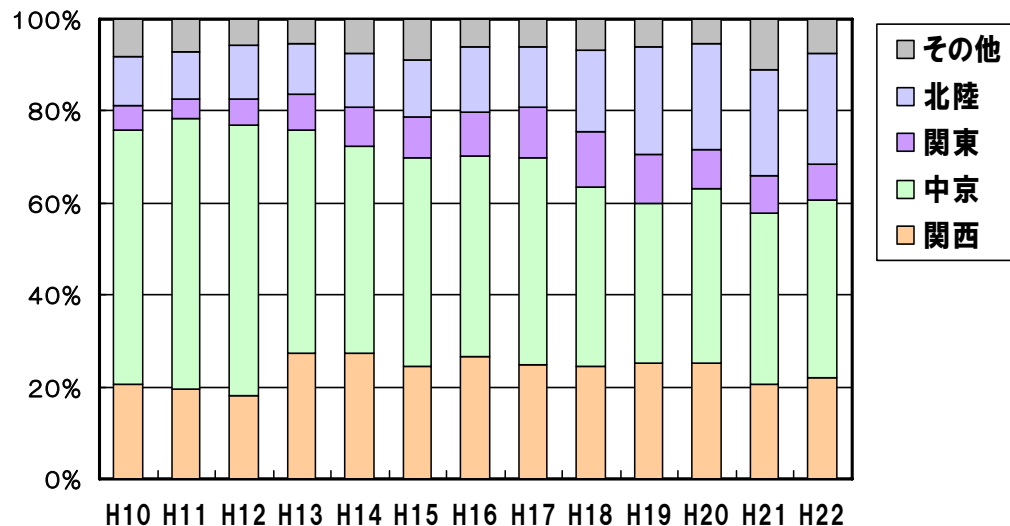
観光入込み客数内訳（県内・県外）



観光入込み客数内訳（旧大野市・旧和泉村）



県外観光客発地別内訳



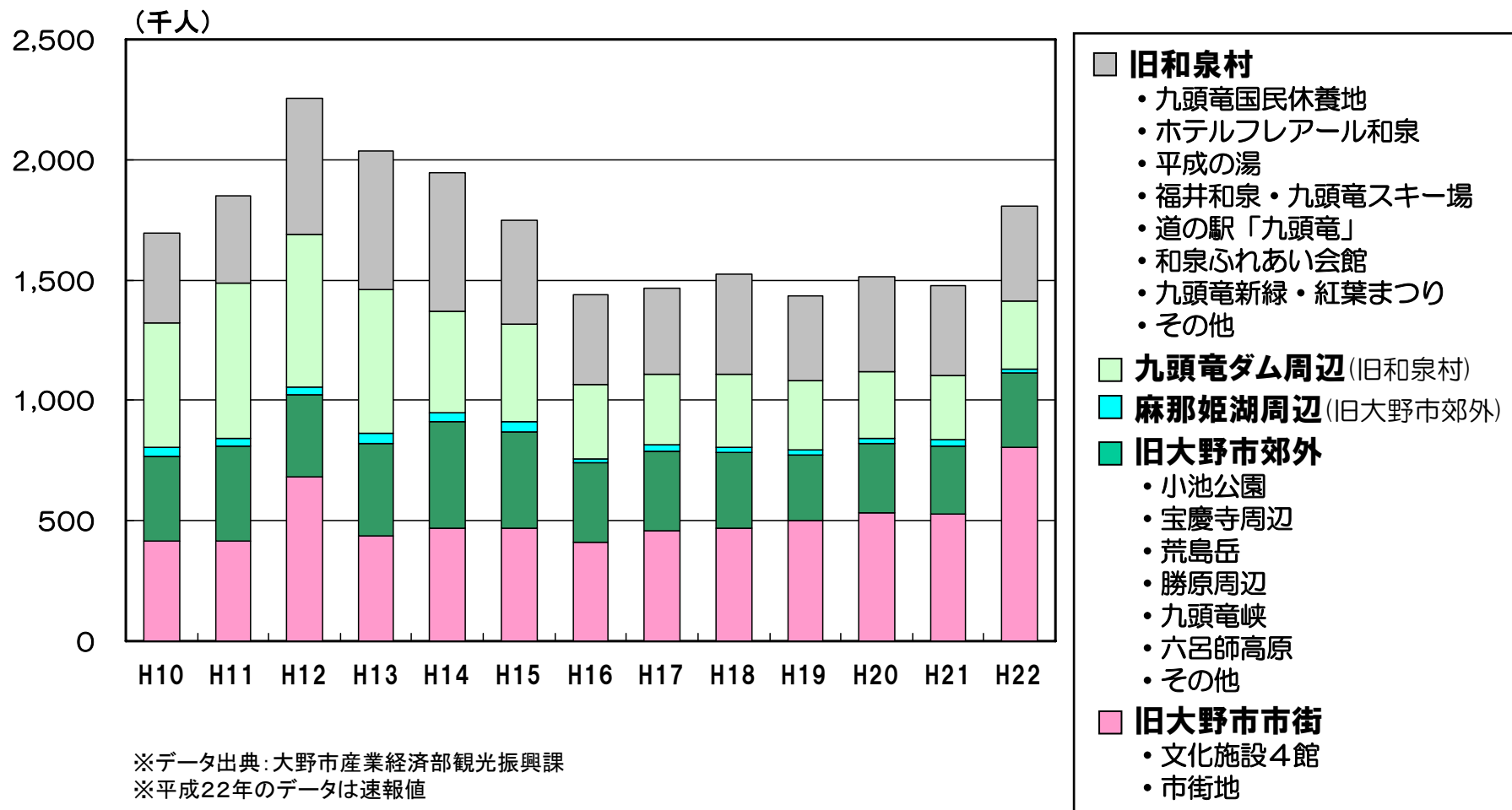
- 大野市における観光入込み客数は、平成12年をピークに平成16年まで減少を続け、その後は横ばいとなっているが、平成22年は大野城築城430年祭の影響で、平成15年並になっている。
- 全体の5～7割が県外からの観光客であり、中京地区からの観光客が最も多い。
- 旧大野市と旧和泉村で、観光入込み客数の割合は、旧大野市がやや多い傾向にある。

※データ出典：大野市産業経済部観光振興課
 ※平成22年のデータは速報値

【参考資料2】 大野市における観光地としての真名川ダムと九頭竜ダム

大野市における主要観光施設の入込み客数

- 大野市の主要観光施設の入込み客数のうち、「九頭竜ダム周辺」の占める割合は20～30%、「麻那姫湖周辺」の占める割合は1～2%程度である。



【参考資料3】 ダムの高さの順位

堤高順大ダム一覧

ダム年鑑2010より

順位	水系名	河川名	ダム名	県名	形式	目的	ダムの規模			湛水面積 (ha)	総貯水量 (千m ³)	有効貯水量 (千m ³)	ダム事業者名	竣工年度
							堤高 (m)	堤頂長 (m)	堤体積 (千m ³)					
1	黒部川	黒部川	黒部	富山	A	P	186.0	492.0	1,582	349	199,285	148,843	関西電力(株)	1963
2	信濃川	高瀬川	高瀬	長野	R	P	176.0	362.0	11,590	178	76,200	16,200	東京電力(株)	1979
3	木曽川	揖斐川	徳山	岐阜	R	FNWIP	161.0	427.1	13,700	1,300	660,000	380,400	水資源機構	2007
20	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜	福井	R	FP	128.0	355.0	6,300	890	353,000	223,000	国土交通省・電源開発(株)	1968
21	九頭竜川	真名川	真名川	福井	A	FNP	127.5	357.0	507	293	115,000	95,000	国土交通省	1977

形式の記号 A:アーチダム G:重力式コンクリートダム R:ロックフィルダム

目的の記号 F:洪水調整 N:不特定用水 A:かんがい用水 W:上水道用水 I:工業用水 P:発電

【参考資料3】 ダム湖の大きさの順位

貯水容量順ダム一覧

ダム年鑑2010より

順位	水系名	河川名	ダム名	県名	形式	目的	ダムの規模			湛水面積 (ha)	総貯水量 (千m ³)	有効貯水量 (千m ³)	ダム事業者名	竣工年度
							堤高 (m)	堤頂長 (m)	堤体積 (千m ³)					
1	阿賀野川	大由沢川	奥只見	福島	G	P	157.0	480.0	1,636	1,150	601,000	458,000	電源開発(株)	1960
2	木曽川	揖斐川	徳山	岐阜	R	FNWIP	161.0	427.1	13,700	1,300	660,000	380,400	水資源機構	2007
3	阿賀野川	増沢川	田子倉	福島	G	P	145.0	462.0	1,950	995	494,000	370,000	電源開発(株)	1959
8	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜	福井	R	FP	128.0	355.0	6,300	890	353,000	223,000	国土交通省・電源開発(株)	1968
40	九頭竜川	真名川	真名川	福井	A	FNP	127.5	357.0	507	293	115,000	95,000	国土交通省	1997

形式の記号 A:アーチダム G:重力式コンクリートダム R:ロックフィルダム

目的の記号 F:洪水調整 N:不特定用水 A:かんがい用水 W:上水道用水 I:工業用水 P:発電

洪水調節容量順ダム一覧

ダム年鑑2010調べ

順位	水系名	河川名	ダム名	県名	形式	目的	堤高 (m)	有効貯水量 (千m ³)	洪水調節容量(千m ³)		ダム事業者名	竣工年度
									洪水期※	非洪水期		
1	雄物川	玉川	玉川	秋田	G	FNAWIP	100.0	229,000	107,000	39,000	国土交通省	1990
2	木曽川	揖斐川	徳山	岐阜	R	FNWIP	161.0	380,400	100,000	14,000	水資源機構	2007
3	吉野川	吉野川	早明浦	高知	G	FNAWIP	106.0	298,000	90,000	80,000	水資源機構	1997
4	九頭竜川	真名川	真名川	福井	A	FNP	127.5	95,000	89,000	48,000	国土交通省	1997
31	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜	福井	R	FP	128.0	223,000	33,000	33,000	国土交通省・電源開発(株)	1968

形式の記号 A:アーチダム G:重力式コンクリートダム R:ロックフィルダム

目的の記号 F:洪水調整 N:不特定用水 A:かんがい用水 W:上水道用水 I:工業用水 P:発電

※洪水期が複数に区分されている場合は、洪水調節容量の最大値を示しています。

【参考資料4】 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン

施策の体系

森林

森林の保全・育成

- 水源林の保全
- 林業ボランティア

森林資源の活用

- 雑木林(里山)の活用
- 木工・ログハウス工房づくり
- 自然体験の拠点づくり

水

健全な水環境整備

- 水路網や清水の復元
- 水を活かした公園づくり
- 地下水位のモニタリング

水環境の啓発

- 水文化や愛護活動
- 親和性の高い水生生物の保全
- 家庭排水対策

利水運用の工夫

- 農業用水管理との連携
- 河川の維持流量等の確保の研究
- 地下水保全を図る貯水池運用の研究

交流

人材・組織の育成

- 市民参加活動の拡充
- 将来を担う人づくり
- 水源地域のファンづくり

水辺環境の活用

- カヌー体験ゾーン形成
- フィッシングゾーン形成
- 親水エリアのネットワーク
- 湖畔めぐりルートづくり
- 中島公園等の充実
- 水辺の利用のルールづくり

広域交流の促進

- ブランドイメージづくり
- 地域間交流の促進
- 情報ネットワークづくり

施策の実施イメージ



ビジョンの推進方法

